
恋の方程式

L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の方程式

【Nコード】

N0083D

【作者名】

L

【あらすじ】

先生に恋をしてしまう恋物語。十六歳の女の子の切なくて愛がいっぱいこもった気持ちに感動できる作品

始めに らぶから（前書き）

こんにちは・・・・らぶと言います！先生と生徒の切ない恋物語を書いています・・・・この小説を読んでなにか大切なことに気づいていただけたら嬉しいです！では頑張りますのでよろしくおねがいします・！・それではらぶ初作品の『恋の方程式』です。

始めに らぶから

こんにちは・・！

LOVEと言います！

先生と生徒の切ない恋物語を書いていきます・・！この小説を読
んでなにか大切なことに気づいていただけたら嬉しいです！
では頑張りますのでよろしくおねがいします・・

それではLOVE初作品の『恋の方程式』です。

#1 ハジマリ

「桜倉！さくらー！！おい！起きろ！」

「……………んん。」

はあ……。と大きくため息をついて黒板消しとチョークを持ったまま窓際の1番後ろの席まで速足で歩いて行く。

ーポカンッ！ー

「たあ……………い！」

「桜倉奈緒さん！おはようございまーす！」

奈緒は少しあいて机から顔をあげて眠そうに言う。

「……………！お母さん！」

クラスがどつと笑い声でうるさくなる。

「はあ……。俺はお前を産んだつもりもないしそのまえに産めない！早く起きてノート写せよ。」

「…あと10分。」

そう言つとせつかくあげた顔をまた机に伏せてしまった。

「…じゃあ授業のあと残れよ。補習だ。」

さめきつた態度で遠くを見つめながら言い、授業続けるぞーと叫びながら黒板に続きを書き始めた。
そんな姿をみても奈緒はぐっすりと熟睡している。

「いーよね、桜倉さん。いつも伊藤先生一人じめできてさッ！」

「あたしも思うー！たいして美人じゃないくせに！」
「わかんないの？桜倉は可愛いよ。すかなくともお前らよりは」

クラスの女子の話。桜倉への妬みに急に入ってきたのは学園でも噂の美少年五十嵐悟（イガシサト）

数学の時間に本を堂々と読む五十嵐には加藤は桜倉と同じくらい気にかけていた。

五十嵐はよだれが垂れた奈緒の顔をみてクスクス笑う。

そんな五十嵐を見てクラスの女子も黙っている。

そしてそんな五十嵐を見ている加藤はどうしていいかわからずはあ…とため息をつきながら授業の続きを始めた。

始まっていた…

涙で一杯の恋物語は…

#2 補習

……キーンコーンカンコーン…

「ばいばーい！」

「ばいばい！ねえカラオケいこー！」

「いーよオ！てかクレープ食いてー！」

「うち金欠なんだよねー！」

「やつべ！彼女からだ…」

「おまえが浮気するからだろ！」

廊下は帰りの生徒の声で賑わっている。

そして教室はと言つと…

「……グスン。早苗ちゃんと食い倒れツアーがあ。なんで先生と疲れ倒れツアーカッコ勉強へんカッコ閉じるになるのお！」

「おまえが寝るからいけないんだろ？早苗ちゃんと食い倒れツアーは明日にしろ。な？ほら！やつぞ！」

「……………！もー。もー！！もーもーもーもー！……………！」

「はいはい牛さーん！43ページを開いてくださーい！」

「……………！いいもーん！できないもーん！」

ああいえばこつゆづ。

ずっとその繰り返しだ。

戦い続けて10分…

「先生…ここは？」

奈緒は机に向かって数式を解いている。

どうやら戦いに負けたらしい。

「ん？ここは…」

加藤は誇らしげに奈緒に教える。

「わかったあ！先生わかったよっ！！」

「……………。そうだな…あってるぞ…出来るじゃないか桜倉！」

「ご褒美ちょうだい！」

「は……………」

加藤は予想が着かなかった。普通こっちが御礼に貰うと思ってたから…

「え…や…そうだな…」

「やったあ！じゃあさ、んーと…。…。…。！」

奈緒が思い付いた顔をした。

「名前！」

「え…どーゆー……。…」

またまた加藤は意味のわからなさに言葉がつまる。

「先生の下の名前！」

「あ…そんなでいいの？」

「うん！教えてー！」

可愛い顔をして加藤に椅子を近づける。

「諒…」

「りょう……？」

「うん…？」

すこし笑いながら小さく頷く。そしてだれよりも大きな声で言う。

「へえー！！！！しーちゃーたっ！フフ」

「なんで知りたいの…？」

恐る恐る聞いてみる加藤。

「わーかないっ!」

急に立ち上がって窓を開ける奈緒。

「わー!きれー!」

奈緒の大きな黒い瞳には綺麗な、燃えるような、綺麗な夕日を映し出している。

そんな加藤は今までにない奈緒の真つすぐな性格にきずく。下を向いてわらい奈緒の居る窓に近づいて来た。

「ホント…きれいだなー。」

この“きれいだな”はどんな意味だったのかは本人も奈緒も今はきずかなかった。

二人の顔は赤やピンクに綺麗に染まっていた。

いつまでも…

ずっと………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0083d/>

恋の方程式

2011年10月4日14時32分発行